

資料提供年月日	令和1年7月11日	
問い合わせ先	課名	オリエント美術館
	電話	直通 232-3636 内線 —
担当者	職名・氏名	館長 八田健郎
	職名・氏名	副主査 四角隆二

## 広 報 連 絡

〈市長記者会見資料〉

- 1 件 名 オリエント美術館開館40周年特別展「ミイラと神々-エジプトの来世、メソポタミアの現世-」の開催について
- 2 趣 旨 オリエント美術館は1979(昭和54)年に開館し、今年で40周年を迎えています。これを記念して特別展「ミイラと神々-エジプトの来世、メソポタミアの現世-」を開催します。  
(※別添チラシ参照)  
「見えない世界を見る」をキーワードに、造形物に表された神々や精霊の姿を通して、古代メソポタミアの人々が神々に祈った現世での試練と、古代エジプトの人々が望んだ来世での復活という死生観を対比的に紹介しています。
- (1) 会期：7月13日(土)から9月16日(月・祝)  
※ 初日13日10:00から開会式を行います。
- (2) 場所：オリエント美術館展示室
- 3 美術館の概要 オリエント美術館は、学校法人岡山学園の(故)安原真二郎やすはらしんじろう氏からイラン・イラク地方の考古美術品1,947点の寄贈を受けたことを契機に、岡山市がオリエント地域の建築エッセンスを散りばめて建築した国内唯一のオリエント地域専門の公立美術館です。その後、購入や市民等からの寄贈・寄託により、ギリシアやエジプト、ガンダーラ地域を含む古代オリエント文明全域にまたがる、文化史的価値が非常に高く、世界的に貴重な約4,700点の考古美術品を有するに至っています。代表的な収蔵品は「アッシリアレリーフ」と呼ばれる、紀元前9世紀頃の古代アッシリア帝国の宮殿を飾った壁面彫刻で、鷲の頭に翼のある精霊が描かれています。40年間の累計入館者数は約190万人です。



特別展

# ミイラと 神々

エジプトの来世、  
メソポタミアの現世

# Mummies and Gods

Afterlife in Ancient Egypt, this world in Mesopotamia

岡山市立オリエント美術館開館40周年  
OHK岡山放送開局50周年

令和元(2019)年

7.13<sub>[土]</sub> > 9.16<sub>[月・祝]</sub>

開館時間▶午前9時～午後5時 毎週月曜休館

入館は午後4時30分まで。ただし、7月15日(月・祝)、8月12日(月・休)、9月16日(月・祝)は開館。

入館料▶一般1,100円(前売900円)、満65歳以上/高大生800円(前売600円)、小中生500円

※20名以上の団体は各100円割引、その他割引は当館へお問い合わせください。

※障害者手帳をお持ちの方と、その付き添いの方1名は無料です。

前売り券は、当館受付、当館周辺ギャラリー、岡山市内主要プレイガイド、コンビニ店頭等でお求め下さい。

セブンチケット <http://7ticket.jp>、ローソンチケット Lコード62032、チケットぴあ Pコード769-794

コンビニ店頭では7月13日(土)以降、当日券のみの販売となります。

主催▶岡山市立オリエント美術館、OHK岡山放送 協賛▶

後援▶岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、岡山市PTA協議会、公益社団法人岡山県文化連盟、

岡山オリエント協会、岡山市立オリエント美術館友の会、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局、

産経新聞社、中国新聞備後本社、岡山リビング新聞社、高松リビング新聞社、FM岡山、oniビジョン

左)ペンダント付トルク アケメネス朝ヘルシア 前4世紀 MIHO MUSEUM

右)人形棺:蓋 エジプト 末期王朝~プトレマイオス朝 熱海市立澤田政廣記念美術館



岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町9-31 Tel.086-232-3636 Fax.086-232-5342  
<http://www.orientmuseum.jp> e-mail: [orient@city.okayama.lg.jp](mailto:orient@city.okayama.lg.jp)  
[twitter.com/okayama\\_orienta](https://twitter.com/okayama_orienta) [facebook.com/okayamaorientmuseum](https://facebook.com/okayamaorientmuseum)

# 特別展 ミイラと神々 エジプトの来世、メソポタミアの現世

## 特別講演会+ミイラ作り体験

講演：古代エジプトのミイラ作り

日 時 ●7月27日(土) 午後1時30分～午後3時

講 師 ●和田浩一郎(國學院大學兼任講師)

聴講料 ●一般500円 学生100円

(友の会会員300円、友の会学生会員無料)

定 員 ●50名

## ワークショップ「ミイラ作り体験」

特別講演会聴講者で、希望者から抽選で20名が参加できます。

日 時 ●7月27日(土) 午後3時30分～4時30分

講 師 ●高見妙(古代オリエント博物館教育普及員)

定 員 ●20名(要申込)。

申 込 ●7月15日(月・祝)締切。

希望者は特別講演会聴講申込時に「ミイラ作り体験希望」をお伝えください。抽選の上、当選者にご連絡します。

## 小学生ミイラ作り体験教室

ギャラリートークとともに展示鑑賞後、等身大の人形を用いて、ミイラ作り体験を行います。

日 時 ●7月28日(日) 午前10時から、午後1時30分からの、2回

講 師 ●高見妙(古代オリエント博物館教育普及員)

定 員 ●各回20名、合計40名

参 加 ●特別展入館料のみ

申 込 ●7月15日(月・祝)締切。

抽選の上、当選者にご連絡します。

進学や就職など、新たな社会に踏み入れる時、理想と現実の落差に直面した時など、ヒトは漠然とした不安に襲われたり、心の落ち着きを失ったりします。

科学が発達する以前、人々は「見えない世界」を想像することで、自身を取り巻く外界を把握し、不確実な現実を理解しようとしてきました。豊かな恵みの反面、干ばつや洪水といった試練を課す自然への感謝と怖れは、絶対的存在である神々を創造し、「見えない世界」の主人公として様々な物語が生み出されました。エジプトやメソポタミアに華開いた最古の都市文明に生きた人々にとって、神々の物語は自己の未来に対する漠然とした不安に指針を与え、心の平安を維持してきたのです。

古代エジプト人が最も想像を膨らませたのは、死と死後の世界でした。死は万人が避けることはできない一方、死後の世界から生きて戻った人はいません。彼らは望ましい来世の景色を想像し、到達の方法について思索し、その手段の一つとしてミイラ作りを行いました。

2つの大河に挟まれたメソポタミアの人々を悩ませたのは、洪水や嵐など自然の脅威でした。天候を擬人化した神々の多くは巨大で人知を超えた力を備え、死すべきかよわい存在である人間は、神のご加護が必要と考えたのです。

19世紀以降、エジプトや西アジアの古代文明の発見と文字解読により、彼らの精神世界の一端が明らかになりました。また21世紀に入ると、先端科学の目によって、人間には「見えない世界」が次々と明らかになってきました。

本展では、「見えない世界を見る」をキーワードに、古代メソポタミア・イランの現世の生活、古代エジプトの人々が望んだ理想の来世を紹介します。見えないものにイメージを与え視覚化することで、見えない世界を手懐け、あわよくば支配してしまうこと、古代オリエント世界の人々の心の動きに共感いただけることでしょう。

### 見どころ1

#### 人形棺(ひとがたかん)

古代エジプト人は、死後の再生復活の願いを込め、魂が戻る場所としてミイラを作り、人の形をした棺に納めました。

※展示予定であった「少女のミイラ頭部」は、諸事情により、展示を取りやめました。

### 見どころ2

#### 粘土板の世界を漫画で可視化!

古代メソポタミアの人々が直面した、現世における悩みや様々な問題が記された粘土板。現代に生きる私たちにも共感できるよう、内容を漫画タッチで視覚化します。

### 見どころ3

#### 「ミイラ作り」の香り

最新の研究成果をもとに、ミイラ作りの過程で漂ったであろう香りを再現! 古代エジプト人が憧れた「来世の香り」の嗅覚体験は、日本初の試みです。

## 付帯事業

### 古代エジプトの青の神秘・ファイアンス製品を作ってみよう!

古代エジプト人が好んで用いた工芸素材ファイアンスの再現制作プログラムです。

日 時 ●7月13日(土) 午後1時30分から

講 師 ●山花京子(東海大学准教授)

参加費 ●800円(材料費込)

定員20名、先着受付順。



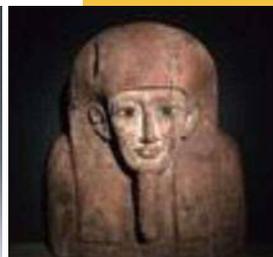
猛禽装飾杯 イラン北西部  
前12-前11世紀 MIHO MUSEUM



ペクトラル 西アジア  
前8-前7世紀 MIHO MUSEUM



牡牛頭部 イラク  
前3千年紀初頭 MIHO MUSEUM



木棺蓋上部 エジプト  
末期王朝 古代エジプト美術館(渋谷)



獅子頭神像 エジプト  
第26-25王朝 MIHO MUSEUM

# Mummies and Gods

## Afterlife in Ancient Egypt, this world in Mesopotamia

## 特別講演会

演題 ●古代メソポタミアの楔形文字資料に記された占い

日時 ●8月3日(土) 午後1時30分から

講師 ●月本昭男(古代オリエント博物館館長)

演題 ●見えない来世を彩る神々ー古代エジプトの場合ー

日時 ●8月10日(土) 午後1時30分から

講師 ●田澤恵子(古代オリエント博物館研究員)

演題 ●古代エジプトの棺:その歴史の変遷

日時 ●9月7日(土) 午後1時30分から

講師 ●藤井信之(関西大学東西学術研究所非常勤研究員)

いずれも定員50名、要予約。聴講料 一般500円、学生100円

(友の会会員は300円、友の会学生会員は無料)

## ジュニア・オリエント教室

ぼくのわたしの守り神を作ろう!

エジプトやメソポタミアの神々を参考に、陶芸粘土をこねて作品を制作。後日、焼成します。

日 時 ●7月29日(月) 午前10時から、

午後1時30分から、の2回

定 員 ●各回20名

講 師 ●小野山嘉木(陶芸家)

対 象 ●小・中学生(小学校低学年児童は保護者同伴のこと)

参加費 ●500円(別途入館料)

申 込 ●7月15日(月・祝)締切。

(先着順)

## Okayama Orient Museum 岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町9-31 Tel.086-232-3636  
http://www.orientmuseum.jp e-mail:orient@city.okayama.lg.jp



JR岡山駅東口より路面電車「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ。  
JR岡山駅東口より徒歩15分。

\*当館には来館者用駐車場はありませんが、市営天神町駐車場をご利用の場合、当館受付にて割引券(1台1回につき100円)を交付します。